

港区教育ビジョン

すべての人の 学びを支え つなぎ 生かす

- 「徳」「知」「体」を育む学び
- 生き抜く力を育む学び
- 生涯を通じた学び
- 地域社会で支え合う学び
- つながり、伝え、循環する学び

港区学校教育推進計画 夢と生きがいを持ち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する子ども

芝浦小学校の学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、広く国際社会において、信頼と尊敬の得られる心身ともに健康で知性と感性に富む人間性豊かな児童の育成を目指す。

- 心もからだも強い子
- すすんで勉強する子
- 友だちと協力する子

目指す学校像

夢がもてる「我が母校」の創造 「チーム芝浦」で学校改革

- 視点1：自分や他者を大切にす豊かな心を育むとともに、子どもたちの規範意識を醸成する学校
- 視点2：教師が指導方法の改善に努め、家庭と連携して21世紀型能力を育成する学校
- 視点3：子どもたちが心身ともに健康で、不登校やいじめのない学校
- 視点4：子どもたちが港区や地域、母校を誇りに思うとともに、地域・保護者から愛される学校

今年度の取組

- ◎ 学校が組織「チーム芝浦」として、視点1から視点4の実現を目指し、家庭・地域と連携しながら推進していく。
- 「芝浦スタンダード」を凡事徹底して定着を図る。

視点 1

東京都人権尊重教育推進校として人権教育を推進し、豊かな心を育む

- 1 お互いのよさを認め合い、協力できる子どもの育成
 - (1) 日常の取組の重視
ハッピー班活動、あいさつ運動、クリーン大作戦、ミニコンサート、人権図書コーナー、人権標語
 - (2) 心の教育を踏まえた道徳の授業の充実
 - (3) 差別や偏見を許さない意識の醸成
お肉の情報館やハンセン病資料館等との連携
- 2 「美しい挨拶」を大切にす言語環境の整備
 - (1) あいさつの重視、教職員が率先垂範
 - (2) 立場や場に応じた適切な敬称と言葉遣い
- 3 落ち着いて学べる学習環境の整備
 - (1) 花と緑に囲まれた潤いある学校環境の整備
校門、校舎内外の花や緑の整備、屋上等の活用の工夫
 - (2) 清掃・整備の行き届いた校舎内外
校門前や校舎内壁面の装飾、各種教育情報の掲示、各教室の整理整頓（掲示物、ロッカー等）
 - (3) ステップアップルーム（特別支援教室）、教育相談機能の連携と充実
 - 一人ひとりの困り感をなくす指導の推進
 - 個別指導計画に基づいた指導のネットワーク化（児童に関わる人材の連携強化）
 - スクールカウンセラーの活性化

東京都人権尊重教育推進校として人権教育を推進し、豊かな心を育む

4 規範意識の醸成

- (1) 芝浦スタンダードの徹底
持ち物・学習ルール・生活ルールの徹底
- (2) 「らなぬものはならぬ」を全教職員が統一指導
- (3) 自らの頭で考えて行動する子の育成

視点 2

これからの社会の担い手となる児童に、生きて働く力を授業を通して育成する

- 1 アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた思考力・判断力・表現力の育成
 - (1) グループでの話し合い活動の確保、1時間の授業の中で考える時間を設定
 - (2) 民間指導者を講師とした研修会の実施
「7つの習慣」の導入
 - (3) 港南アカデミー（幼・小中の連携）による研究の充実
- 2 授業のねらい、学ぶ意欲を大切にした授業の実施
 - (1) 導入・板書計画・ノート指導等の工夫
 - (2) ICTの有効活用
電子黒板・デジタル教科書・タブレット端末の活用
- 3 分かる授業を進めるための指導体制の充実
東京ベーシックドリルの活用、習熟度別授業の推進
- 4 基礎・基本の定着
芝浦タイム（朝のモジュール学習）・家庭学習・補習学習の充実、学校図書館の有効活用

視点 3

健康教育を充実させるとともに、心の健康の基礎を養う

- 1 体力の向上
 - (1) 掲示資料（ランキングボード）・取組カードの活用
 - (2) 体育科の授業の充実
水泳指導期間の延長、体力テストの活用による授業改善、ラグビーなど専門家の指導
- 2 心の健康の充実
 - (1) 不登校やいじめのない学校づくり
欠席者へのこまめな連絡、毎月の「いじめアンケート」の実施と具体的な対応
 - (2) 一人ひとりの児童を深く理解した教育活動の推進
ハイパーQ Uの活用

健康教育を充実させるとともに、心の健康の基礎を養う

- 3 食に関する指導の充実
 - (1) 給食を中心とした食に関する指導の実施
栄養士による食育指導
 - (2) 民間委託した業者との連携
- 4 健康に関する指導の充実
養護教諭による指導、姿勢教育の導入
- 5 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の取組
生活習慣の確立、遅刻ゼロ活動

視点 4

地域を愛し、学校を愛する心を養う

- 1 地域や関係機関等の地域力を致した体験的な学習の充実
 - (1) 関係機関等との連携
青年会議所（すもう体験）、消費者センター（買い物教室）、大使館（オリンピック・パラリンピック教育）、町会・自治会（昔遊び、昔の芝浦話）
 - (2) 地域学習・夏講座
運河を美しくする会、地元企業、芝浦工業大学、田町駅等
 - (3) 国際理解学習
国際科の授業、芝浦太鼓、昔の道具体験、なぎなた教室、テンブル大学との連携
ふる里芝浦を生きた教材とした体験学習
 - (4) 港区学校支援地域本部事業の導入を見据えた体制づくり
校内組織の準備
- 2 地域清掃の推進
町会・近隣企業（関電工、トヨタビスタ、田町駅等）との連携
- 3 地域の行事への積極的な参加
児童・教職員が地域の祭りやPTA行事などに積極的に参加

そのためのマネジメント

- (1) 教職員は学校経営計画の実現を図るために、「一人一取組」を創造的に提案し、自己の目標を自己申告書に位置付け、達成を目指す。また、自己申告書は学校経営計画に基づき作成していく。
- (2) 学校の教育活動の理解啓発を図り、地域・保護者の協力を得るために、積極的に情報発信を行う。
 - 年度当初の全体保護者会での学校経営の方向性のプレゼンテーションの実施
 - 学校ホームページの充実
 - 各種の方法による学校の取組の周知（スクールミーティング、校長通信等）
- (3) 教育活動の改善の迅速化を図る。
 - 評価を短期的に実施し、教育活動の改善を早期に実施
 - 学校行事後に実施する反省に基づき、次年度の計画案を年度中に立案し、必要な情報を発信